

◆昼間分べんで事故防止を

牛の分べん時刻を予測することは難しいものです。夜間から早朝にかけての分べんは、約七割にもおよび、朝死んで生まれている子牛に遭遇することも体験されていることでしょう。このことは、分べんの経過が長引いたり、弱く生まれたため、自力で起立・ほ乳できず、仮死状態になり死亡したりしたものと考えられます。

分べん時の事故防止策として、分べんを昼間（朝6時から夜9時）に集中させる方法を紹介します。分べんする牛に、分べん予定日の2週間ぐらい前から1日分の飼料を夕方一度だけ給与して、翌朝食べ残した飼料があれば取り除き、夜間だけ食べさせるという簡単な方法です。水、鈹塩は自由にしてよろしいのです。この方法で八割方の牛が昼に分べんするようですが、分べん予定日を過ぎた牛は、夜間に分べんする確率が高いようです。